



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,304	△6.0	170	△52.6	199	△55.3	107	△72.4
2019年3月期第2四半期	10,967	17.1	359	19.5	445	26.9	389	57.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 31百万円 (△92.9%) 2019年3月期第2四半期 445百万円 (23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	7.06	—
2019年3月期第2四半期	25.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	36,753	28,910	78.7	1,902.47
2019年3月期	38,225	29,121	76.2	1,916.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 28,910百万円 2019年3月期 29,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	4.8	1,090	△4.1	1,130	△12.5	830	△13.5	54.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	15,721,000株	2019年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	524,811株	2019年3月期	524,811株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	15,196,189株	2019年3月期2Q	15,196,189株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日）におけるわが国経済は、米中貿易摩擦による中国経済減速の影響を受け輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善にともなう個人消費の持ち直し等により、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化および英国のEU離脱問題等、景気を下振れさせる懸念材料も多く存在しており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境において、当社は中期的な経営目標の達成に向け、「構造改革とプロセス改革」を進めるべく、各種の中期的な施策に取り組んでまいりました。

具体的には、グローバル販売・グローバル調達体制の拡充および各種の事業提携活動・新規事業開発活動に注力するとともに、引き続き、ロボットやIoTを活用した製造ラインの合理化の推進に加え、情報システム・RPAの導入による間接業務の合理化を進めるなど、生産性向上のための活動を行ってまいりました。

しかしながら、主に産業機器事業および検査計測機器事業の販売の減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,304百万円で、前年同四半期比662百万円（6.0%）の減収となりました。

利益面につきましては、積極的なコスト削減等に努めたものの、販売の減少による影響および人員増加にともなう給与及び手当の増加等により、営業利益170百万円（前年同四半期比189百万円、52.6%の減益）、経常利益199百万円（前年同四半期比246百万円、55.3%の減益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前四半期に生じた投資有価証券売却益86百万円が発生しなかったことにより、107百万円（前年同四半期比281百万円、72.4%の減益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	4,145	4,255	2.7%	△91	△107	－%
検査計測機器	4,313	3,779	△12.4%	291	165	△43.3%
産業機器	1,197	1,015	△15.2%	119	52	△55.9%
エクステリア	426	516	21.0%	△16	29	－%
機械・工具	883	738	△16.5%	41	22	△45.2%
報告セグメント計	10,967	10,304	△6.0%	343	162	△52.8%
セグメント間取引消去	－	－	－%	15	8	－%
合計	10,967	10,304	△6.0%	359	170	△52.6%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、ロボット化の推進等、製造ラインの省人化・無人化に向けた活動を行う他、前事業年度に要素技術の高度化を目的に導入を行った新表面処理設備稼働の拡大等を図ってまいりました。また、医療関連分野向け製品においては、前連結会計年度に開発を行った新製品の市場導入活動を行ってまいりました。

この結果、中国における需要が底堅く推移したこと等により、売上高は4,255百万円で前年同四半期比109百万円、2.7%の増収となりました。一方、利益面では積極的なコスト削減活動に努めたものの、セグメント損失は107百万円（前年同四半期はセグメント損失91百万円）となりました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体関連検査装置分野の競争力強化に向けた新製品開発活動を推進するとともに、高機能フィルムおよび電池部材向け検査装置の受注拡大に向けた販売活動に注力してまいりました。また、中国における大口の液晶パネル投資案件にかかる営業活動を積極化させてまいりました。

しかしながら、売上高は3,779百万円で前年同四半期比534百万円、12.4%の減収となりました。利益面では、設計の標準化等コストダウン活動を積極的に推し進めたものの、販売の減少による影響は大きく、セグメント利益は165百万円で、前年同四半期比125百万円、43.3%の減益となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、国内および海外顧客に向けた積極的な営業提案活動、医療関係分野向け電磁アクチュエータの販売拡大および新たなコア加工技術開発等に取り組んでまいりました。

しかしながら、引き続き半導体関連向け製品の需要が低調に推移したことから、売上高は1,015百万円で前年同四半期比181百万円、15.2%の減収となりました。利益面では販売の減少にともなう粗利益減少の影響等により、セグメント利益は52百万円で、前年同四半期比66百万円、55.9%の減益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き、集客施設におけるオーニング等の物件受注の拡大に向けた広告宣伝活動や販売活動に注力するとともに、東京オリンピック・パラリンピック関連施設向け需要の取り込みに向け、営業体制の拡充、新商品開発に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は516百万円で前年同四半期比89百万円、21.0%の増収となりました。利益面では販売の増加にともなう粗利益増加に加え、積極的な経費削減活動等に努めたことにより、セグメント利益は29百万円（前年同四半期はセグメント損失16百万円）となり、黒字転換をすることができました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに向け、販売促進活動に注力してまいりました。しかしながら、顧客の製造設備投資の手控え等により、売上高は738百万円で前年同四半期比145百万円、16.5%の減収となりました。利益面ではセグメント利益は22百万円で、前年同四半期比18百万円、45.2%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,972百万円減少の22,064百万円となりました。これは主に、現金及び預金が529百万円増加した一方、前連結会計年度末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだことにより、受取手形及び売掛金が2,302百万円減少したことおよび仕掛品が270百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して501百万円増加の14,689百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれている長期性預金が200百万円減少した一方、新たに横浜技術開発センターを横浜市に建設したこと等にもない、有形資産合計が769百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は36,753百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,471百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,200百万円減少の6,849百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる設備支払手形が779百万円増加した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が1,197百万円、未払法人税等が227百万円、検査計測装置の大口物件の売上計上により前受金が317百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,843百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,259百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して211百万円減少の28,910百万円となりました。これは主に、親会社による配当金の支払い等により利益剰余金が135百万円、保有する有価証券の評価減少等によりその他有価証券評価差額金が59百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.2%から78.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績につきましては、現時点で、2019年5月8日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,168,714	9,697,716
受取手形及び売掛金	9,203,021	6,900,517
有価証券	30,216	—
商品及び製品	541,172	548,492
仕掛品	3,800,483	3,530,364
原材料及び貯蔵品	1,144,576	1,140,385
その他	149,313	247,272
流動資産合計	24,037,498	22,064,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,874,554	3,955,503
機械装置及び運搬具(純額)	1,032,777	1,027,367
土地	4,250,044	4,266,834
その他(純額)	1,163,369	840,064
有形固定資産合計	9,320,745	10,089,768
無形固定資産		
のれん	155,920	135,587
その他	175,864	222,492
無形固定資産合計	331,784	358,080
投資その他の資産		
投資有価証券	3,464,806	3,380,596
その他	1,076,437	866,919
貸倒引当金	△6,198	△6,198
投資その他の資産合計	4,535,045	4,241,316
固定資産合計	14,187,575	14,689,165
資産合計	38,225,073	36,753,914

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,556,654	1,380,166
電子記録債務	2,607,843	1,586,907
未払法人税等	286,608	59,044
前受金	1,592,990	1,275,781
賞与引当金	458,448	327,224
その他	1,547,525	2,220,690
流動負債合計	8,050,071	6,849,813
固定負債		
長期借入金	166,480	131,440
退職給付に係る負債	504,039	514,512
その他	382,544	347,856
固定負債合計	1,053,063	993,808
負債合計	9,103,135	7,843,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	24,621,589	24,485,784
自己株式	△272,477	△272,477
株主資本合計	28,720,429	28,584,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,682	279,154
為替換算調整勘定	37,425	20,556
退職給付に係る調整累計額	25,401	25,955
その他の包括利益累計額合計	401,509	325,666
純資産合計	29,121,938	28,910,291
負債純資産合計	38,225,073	36,753,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,967,122	10,304,538
売上原価	8,548,457	7,938,776
売上総利益	2,418,664	2,365,761
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	400,739	521,386
賞与引当金繰入額	109,953	99,456
退職給付費用	20,228	22,590
研究開発費	387,364	378,581
その他	1,140,631	1,173,088
販売費及び一般管理費合計	2,058,918	2,195,102
営業利益	359,746	170,658
営業外収益		
受取利息	8,689	9,944
受取配当金	18,855	17,735
為替差益	33,549	—
その他	40,248	24,009
営業外収益合計	101,343	51,689
営業外費用		
支払利息	1,595	1,378
固定資産除売却損	9,378	6,097
為替差損	—	8,200
その他	4,159	7,197
営業外費用合計	15,134	22,875
経常利益	445,955	199,473
特別利益		
投資有価証券売却益	86,577	—
特別利益合計	86,577	—
税金等調整前四半期純利益	532,532	199,473
法人税、住民税及び事業税	147,576	56,070
法人税等調整額	△4,345	36,068
法人税等合計	143,230	92,138
四半期純利益	389,301	107,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,301	107,334

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	389,301	107,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,053	△59,528
為替換算調整勘定	△18,423	△16,868
退職給付に係る調整額	2,187	554
その他の包括利益合計	55,816	△75,842
四半期包括利益	445,118	31,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	445,118	31,491
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	532,532	199,473
減価償却費	424,875	468,813
のれん償却額	15,799	20,333
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,286	△131,036
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,100	10,765
受取利息及び受取配当金	△27,545	△27,680
支払利息	1,595	1,378
売上債権の増減額(△は増加)	1,312,810	2,294,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	△143,132	265,529
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,088,357	△1,193,100
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,323	△107,152
前受金の増減額(△は減少)	492,530	△317,091
その他	65,146	△79,586
小計	1,518,745	1,405,538
利息及び配当金の受取額	26,273	27,077
利息の支払額	△1,587	△1,374
法人税等の支払額	△339,863	△274,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,203,566	1,156,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△116,005	△129,162
定期預金の払戻による収入	185,040	390,211
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△600,488	△468,977
有形固定資産の売却による収入	8,531	1,137
事業譲受による支出	△253,233	—
投資有価証券の取得による支出	△700,585	△604
投資有価証券の売却及び償還による収入	86,577	—
その他	△26,190	△82,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,316,354	△259,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	50,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,040	△42,540
リース債務の返済による支出	△48,044	△49,984
配当金の支払額	△212,746	△243,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,830	△285,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,832	△20,502
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△417,450	590,388
現金及び現金同等物の期首残高	10,452,102	8,840,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,034,651	9,430,946

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	4,145,657	4,313,815	1,197,012	426,878	883,758	10,967,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	32,678	2,007	12,846	7,264	202,144	256,941
計	4,178,336	4,315,823	1,209,858	434,142	1,085,902	11,224,063
セグメント利益又は損失(△)	△91,885	291,151	119,151	△16,501	41,982	343,897

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	343,897
セグメント間取引消去	15,849
四半期連結損益計算書の営業利益	359,746

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「検査計測機器」セグメントにおいて、事業譲受によるのれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては68,000千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	4,255,608	3,779,273	1,015,286	516,363	738,006	10,304,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,625	245	7	5,708	143,956	177,542
計	4,283,234	3,779,519	1,015,293	522,071	881,962	10,482,081
セグメント利益又は損失(△)	△107,523	165,226	52,596	29,048	22,999	162,347

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	162,347
セグメント間取引消去	8,311
四半期連結損益計算書の営業利益	170,658

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。